

## 分散方式 MUDIC500 V

### ◆ 概要 ◆

受変電設備から下水処理場プラントまで幅広く適用できる設備監視制御システムとして MUDIC シリーズを提供している。

ここでは、システム構成に分散方式を採用した MUDIC500 V について紹介する。

分散方式 MUDIC500 V は、処理部に監視制御サーバとデータサーバを分散配置し、情報 LAN を介して連携を行っている。制御 LAN を介して接続する分散局にて収集した設備機器の状態や故障などの情報ならびに各種計測値情報をもとに、設備監視および制御を行うシステムとしている。図 1 に MUDIC500 V 操作卓外観、図 2 にシステム構成図を示す。

### ◆ 特長 ◆

主な特長について以下に示す。

#### (1) 拡張性

小容量～10,000 点規模まで増設が容易。

#### (2) 信頼性

工業用 PC、二重化 HDD を採用。

自己診断機能を搭載。

監視制御サーバおよび、データサーバを制御 LAN に接続し、監視サーバ故障時もデータサーバ機能が継続可能。

#### (3) 視認性

ワイド画面表示対応の表示装置を採用しマルチウィンドウ表示を実現。

### ◆ 機能 ◆

#### (1) 監視制御サーバ

##### ① 警報アラーム機能

機器の状態変化、故障情報および計測値の上下限監視異常情報を編集し、即時画面表示および音声警報により報知する。

##### ② グラフィック表示機能

各種設備をグラフィック表現により表示し、機器状態シンボルや計測データ、故障データなどを一括表示する。また、機器を選択し、入切制御を行う。

##### ③ リアルタイムトレンド表示機能

現在の各種アナログ計測値の推移を、トレンド形式に



図 1 MUDIC500 V 操作卓外観

てわかりやすく表示を行う。サンプリング周期は、1 秒、5 秒、10 秒から選択可能としている。

##### ④ 自動制御機能

デマンド監視制御機能、力率制御機能、スケジュール制御機能などを有し、各種条件により自動制御が行える。

#### (2) データサーバ

##### ① データ管理機能

警報アラームなどの運転記録、ヒストリカルトレンドデータおよび帳票編集用データ蓄積が可能。

##### ② ヒストリカルトレンド表示機能

過去の各種アナログ計測値をトレンド形式にて表示を行う。

##### ③ 帳票編集機能

蓄積した帳票用データをもとに、日報、月報および年報を編集、作成する。

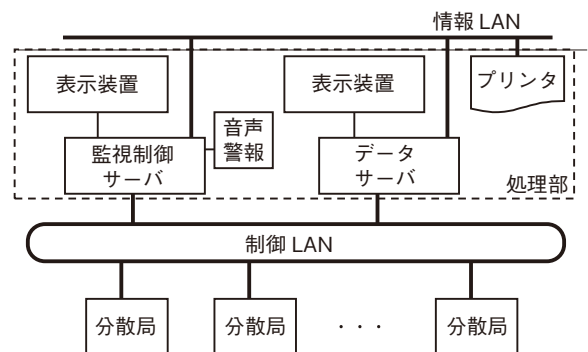


図 2 システム構成図